

平成 30 年 7 月 14 日

露橋水処理センター見学会報告

広報担当 谷田

7月11日(水)、第1回施設見学会が行われ、連日の酷暑日にも関わらず、41名が参加しました。

最初に会議室にて事務所係員より施設の説明を受けました。

露橋水処理センターは昭和8年より稼働してきましたが、施設の老朽化に伴い、平成15年度より改築工事に着手し、平成29年9月に現在の施設となり稼働を開始しました。この施設の処理区域は西、中村、中川各区の1部(699ha)で、改築工事の期間は打出水処理センターにて水処理を行いました。

施設は全て地下に設置されており、処理方法は「嫌気無酸素好気法、急速ろ過」です。その上部空間(地上)は工事中でした。完成すると上部は市民がくつろげる芝生広場となります。

説明が終わり、ベランダに出て工事中の芝生広場を眺めた後、2班に分かれて地下の

階段を降りて施設の見学となりました。水処理の仕組みは「沈殿池、最初沈殿池、反応タンク、最終沈殿池、急速濾過施設、塩素混和地」に分かれていますが、すべて上部は覆われており、処理水はほとんど見ることは出来ず、しました。従って臭気も感じませんでした。再び会議室に戻り、質問時間があり今日の見学会は終了しました。



会議室で説明



施設の見学



芝生広場(工事中)